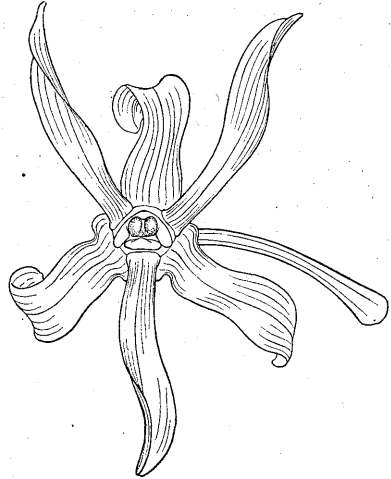


## ○らん科ノ一種ノ畸型 (津山 尙)

小生が南洋産らん科植物ノ研究中ニ出會シタ奇妙ナ畸型ヲ報告スル。ソレハトトラック島ニ産スル未發表ノ *Dendrobium* 屬ノ植物デ、最近 *D. Okabeanum* トシテ發表スル筈ニナツテキルモノニ起ツタ例デアル。コノモノハ花序ハ 20-30 cm ニ達シ、ソノ上ニ直径 4-5 cm 許ノ綠黄色ニ紫色ノ紋ノアル花ヲ稍密ニ生ズル種類デ、ミクロネシアニハ初メテノ *Ceratobium* 節ニ屬スルモノデアル。小生ガ今春、同島ノ夏島ノトノマン山デ採集シター一株ハ丁度花ガ満開中デアツタガ、凡テノ花ハ皆普通ノ花瓣ト質、色、形共ニ全く同ジノ唇瓣ヲ有シ、又 *Dendrobium* 屬ニ普通ニアル顎 (2 個ノ側萼片及ビ唇瓣ノ基部デ形ヅクラレル。) ヲ全然有シナイモノデアツタ。ソレ故ニ正常ノモノヲ見ナイ中ハ、原始的ナ形態ヲ有スル *Dendrobium* 屬カ又ハソレニ近イ別屬デアラウト思ツタガ、ヨク見ルト蕊柱ニモ變化ガアツテ、葯ハアツテモ正常ノモノヨリ少シク小サク、又柱頭洞ヲ全然缺イテキテ、通常ナラバ薬柱ノ先端ノ左右ニノミアル齒狀突起ガ、下面ニモ生ジテキテ、柱頭ノ位置ヲ塞イデキルコトガ判ツタ。



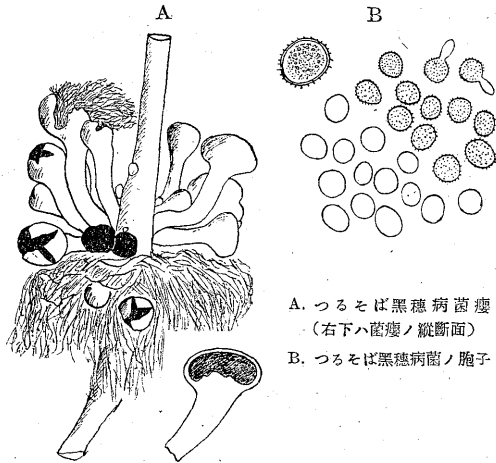
コノ様ナ特殊ナ、一見シタ所デハ畸型ラシカラヌ畸型ガ一株ノ全部ノ花ニ起ルト、一寸研究者ヲ誤ラセサウデアル。コウ言フ例ハ減多ニ起ルモノデハアルマイ。フィリッピンノらん科ヲ研究シテキル QUISUMBING 氏ハ 1932 年以來 Teratology of Philippine Orchids ナル表題デらん科ノ畸型ヲ發表シテキルガ、ソノ第 2 報 (Philip. Journ. Sci. 57) デ *Phalaenopsis Sanderiana* REICH. fil. ニ起ツタ略同様ナ例ヲ報告シテキル。コノ場合モ亦、一株ノ凡テノ花ノ唇瓣ガ普通型ノ花瓣ニトツテ代ラレテキルガ、蕊柱ニハ葯ガナクナリ、先端ニ 3 個ノ小突起ヲ生ジ、柱頭洞ハ消滅シテキナイ。

前ニ花瓣ガ唇瓣化シテ距ヲ 3 個有スルたちつぼすみレノ一株ヲ採ツタコトガアルガ、今述ベタ例ハ逆ニ唇瓣ガ原型ニ歸ツタ場合デアル。

## ○つるそばノ黒穂病菌ヲ下甌島ニ採ル (井手清治)

つるそば黒穂病菌 (*Farysia emodensis* [BERKELEY] SYDOW) ハ、つるそば (*Polygonum chinense* L.) ノ莖ニ茸狀ノ菌癭ヲ作ル面白イ菌デアルガ、主トシテセイロン、ジャバ、臺灣熱帯地方ニ分布シ、日本ニ於ケル産地ハ臺灣アルノミナリ。筆者ハ此菌ヲ陸摩國、甌列島ノ下甌島長濱附近ニテ採集 (昭和 8 年 4 月 2 日) シ、内地ニモ分布シ居ルヲ知りタリ。未ダ内地ヨリノ報告無キヤウナルヲ以テ此所ニ記ス。同好ノ士ノ御參考トナラバ幸ナリ。

菌癭ハ圖及ビ寫眞ニ示ス如ク茸狀ニシテ莖ノ所々ニ簇生シ、表面ハ平滑、表皮下ノ組織細胞内ニハ葉綠粒ヲ含ムヲ以テ外色ハ綠色デアル、熟スルト頭部ノ内部ハ孢子デ充滿サレ、ヤガテ破レテ綿絮様ト孢子トヲ溢出飛散スル。菌癭ヲ生ジテキル莖ノ部分ハ稍太クナツテキル。顯列島ハへご等ノ熱帶性植物ニ富ムデアル。



A. つるそば黒穗病菌癭  
(右下ハ菌癭ノ縦断面)

B. つるそば黒穗病菌ノ孢子

### 文 獻

H. SYDOW: Beiträge zur Kenntnis der Pilzflora des südlichen Ostindiens (An. Myc. XVII. p. 486, 1914).

G. MASSEE: Diseases of Cultivated Plants & Trees. p. 343-344, 1910.

MC ALPINE: The Smuts of Australia 1910.

澤田兼吉: 臺灣菌類調査報告第一篇 p. 314, 1919.

ENGLER-PLANTL: Die Natürlichen Pflanzenfamilien 2. Aufl. 6 Band. S. 13. 1928.

伊藤誠哉: 大日本菌類誌第二卷第一號 p. 61. 1936.